小林鷹之（たかゆき）からの手紙

参議院選挙を終えて

絆を力に。2016年 Vol.32 「討議資料」

衆議院議員
自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行
（千葉市花見川区・習志野市・八千代市）

Facebook www.facebook.com/hawk.kobayashi
twitter twitter.com/kobahawk
HP kobayashi-takayuki.jp

活動報告

第5回 小林鷹之後援会「飛鷹会」 朝食勉強会

私の思いと信念

講　師：マネックスグループ株式会社
代表執行役社長CEO 松本 大 氏
日　時：平成28年8月5日(金)
受付・朝食：午前7時30分～
講　演：午前8時～9時
場　所：ホテルニューオータニ「鳳凰東中の間」
東京都千代田区紀尾井町4−1

参加ご希望の方は右記の国会事務所までご連絡下さい。

小林鷹之事務所では、定期的に
「小林鷹之後援会『飛鷹会』朝食勉強会」を開催しています。

鳩山邦夫先生のご冥福をお祈り致します ❻

❽
国外において不慮の犯罪被害を受けた被害者等に対する特別給付金の支給について

平成28年７月12日
閣　議　決　定

平成28年７月２日（日本時間）に発生したバングラデシュ・ダッカにおける襲撃事件の被害の状況に鑑み、国外犯罪行為（国外犯罪被害弔慰金等の支給に関する法律（平成28年６月７日法律第73号。以下「法」という。）第２条第１項に規定する行為をいう。以下同じ。）により不慮の死を遂げた日本国民の遺族又は重度の障害が残ることが明らかな日本国民に対し、法の施行までの間、政府は、下記により特別給付金を支給することができるものとする。

❶参議院選挙で応援演説❷自民党若手代表として討論番組に出演 左:BS11「報道ライブINsideOUT」 右:テレビ朝日「AbemaPrime」❸稲田朋美自民党政調会長に地元でご講演頂きました❹千葉県内の高校主催「政策発表会」に自民党代表として参加❺小泉進次郎自民党農林部会長が参議院選挙応援のため八千代市に❻鳩山邦夫先生のご冥福をお祈り致します　左:東京で主催した会合でご挨拶頂きました　中・右:自民党犯罪被害者支援PT座長と事務局長として❼「国外犯罪被害弔慰金等支給に関する法律案」採決（左:衆議院内閣委員会、右:参議院本会議で可決成立）❽ダッカテロ事件被害者等への特別給付金支給が閣議決定されました

小林鷹之 Profile

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員2期目。予算・外務・東日本大震災復興の各委員会委員、自民党外交部会部会長代理、青年局次長他、各種事務局を務める。一女の父。

地元事務所　〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1−3−5 YYビル1階
TEL 047-409-5842　FAX 047-409-5843
国会事務所　〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室
TEL 03-3508-7617　FAX 03-3508-3997

参議院選挙を終えて

参議院選挙が終わりました。今回は、18歳選挙権になってから初めての国政選挙。各政党が若い方を意識したメッセージを発信したこと自体はとても良かったと思います。重要なのはこれからです。**学校における政治的教養の教育をはじめ、模擬投票や討論会など、主権者教育を強化していくこと、また家庭や社会の中で政治について自由闊達に話のできる環境づくりが必要**です。

さて、参院選の結果は、与党が議席数を伸ばしての勝利。私は、これだけの議席数と物事を前に進める力を頂いたからこそ、多くの国民の皆様の声に謙虚に耳を傾ける政治姿勢が、これまで以上に求められると思います。

国会議員に求められる使命は大きく2つあります。**国民生活を豊かにすること**。そして、**国家国民を守り抜くこと**です。

国民生活を豊かにするという意味では、今の政権の経済政策はあくまで「道半ば」です。確かに、リーマンショック時に失われた国民総所得50兆円のうち36兆円を既に取り戻しました。雇用も企業収益も税収も、多くの経済指標が民主党政権時と比べると大幅に改善しています。しかし、地元の中小企業経営者、商店街、農家、年金暮らしの方などから、「暮らしが良くなった」という朗報はまだそれほど聞こえてきません。景気回復の実感を広めていくためには何が必要なのか。

「この3年半進めてきた経済政策を更に推し進める」これが今回の選挙で自民党が掲げた公約でした。

暮らしの先行きに不安を抱える方が少なくない中で、不安を払拭し、個人消費を促し、経済を活性化していくことが重要です。ただし、「あれもやります、これもやります、でも財源はありません」では困ります。

社会保障費の財源となる消費増税を延期したこともあり、**優先順位を付けて政策を実行していく**必要があります。

例えば、保育や介護については、受け皿拡充や処遇改善を含め、社会保障制度（子育て支援を含む）を国としても力強くサポートしていきます。更にその選択の幅を広げるためにも、まずは**更なる経済成長を実現させ、税収を増やしていく**ことが必要です。

人口減少が既に始まっている中で、経済を成長させることは易しいことではありませんが、**①意欲ある女性や高齢者の労働参加、②生産性の向上、③国内外の新たな需要の取り込み**、などを実現し、皆様の希望を叶え、豊かさを実感できるよう、与党の一員として頑張ってまいります。

また、国内だけでなく、イギリスのEU離脱や新興国経済の低迷など、世界経済もリスクに直面しています。今は、政策を総動員し、世界各国とも協調して景気をとにかく良くしていくことに全力を傾注すべき時だと考えています。

国家国民を守り抜くという点では、選挙期間中にも北朝鮮によるミサイル発射やバングラデシュのダッカにおける人質殺害事件が起こりました。また、日本にとってもシーレーンとして非常に重要な海域である南シナ海における中国の主張や行動について、仲裁裁判所の裁定に対して中国が反発している状況です。

日本は先に述べた世界経済だけでなく、こうしたテロとの戦い、国際法の遵守についてもリーダーシップを発揮し、外交・安全保障においても皆様からの負託に応えてまいります。

なお、ダッカの事件においては、7名の邦人の方が尊い命を失われる結果となりました。慙愧に耐えません。

こうした中で、**政府はご遺族の方々に弔慰金（200万円）をお渡しすることを閣議決定**しました。これは、**私が、故・鳩山邦夫議員と二人三脚で2年かけて取り組んでまいりました「国外犯罪被害弔慰金等に関する法律」が、前国会の最終日ギリギリで成立（平成28年6月1日）したことを受けたものです**。まだ法律は施行されていませんが、法律の趣旨を汲んでくれた政府に感謝しています。

これからも結果にこだわりながら地道に精進してまいりますので、引き続きのご指導をよろしくお願い申し上げます。

平成二十八年七月吉日

衆議院議員
小林鷹之